

令和2年度第2回市政モニターアンケート結果

テーマ「防災意識について」

- (1) 対象 市政モニター 106人
(2) 回答者数 97人
(3) 実施期間 令和2年9月14日(月)から10月9日(金)まで
(4) 目的 相模原市では、地震などの災害発生時に迅速な対応ができるよう相模原市地域防災計画を策定し、防災対策の推進を図っています。今回の調査は、相模原市にお住いの皆様の防災に対する課題やご意見などをお伺いし、今後の本市の防災・減災対策を推進する上での基礎資料として活用するため、アンケートにご協力いただきました。

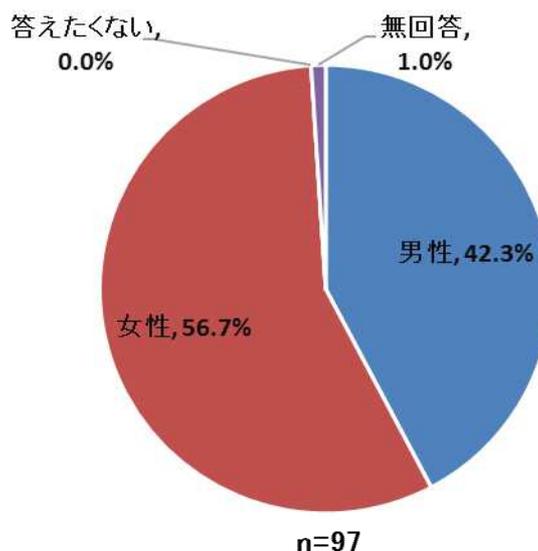
表、グラフ内の数字は回答者数を基数とした百分率で表わし、小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合があります。

【基本的項目についてお伺いします。】

【問1】 あなたの性別をお伺いします。(回答は1つ)

1 男性	2 女性	3 答えたくない
------	------	----------

選択肢	回答数	回答分布
男性	41	42.3%
女性	55	56.7%
答えたくない	0	0.0%
無回答	1	1.0%
計	97	100%

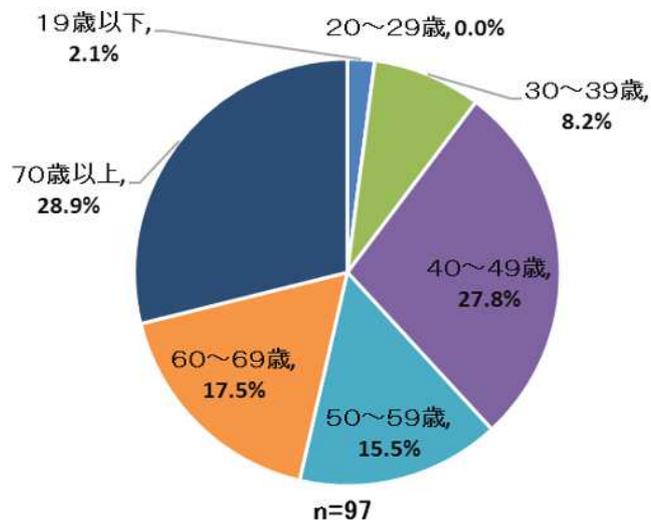


回答された方の性別は以上のとおりです。

【問2】 あなたの年齢をお伺いします。（回答は1つ）

1	19歳以下	4	40～49歳	7	70歳以上
2	20～29歳	5	50～59歳		
3	30～39歳	6	60～69歳		

選択肢	回答数	回答分布
19歳以下	2	2.1%
20～29歳	0	0.0%
30～39歳	8	8.2%
40～49歳	27	27.8%
50～59歳	15	15.5%
60～69歳	17	17.5%
70歳以上	28	28.9%
計	97	100%

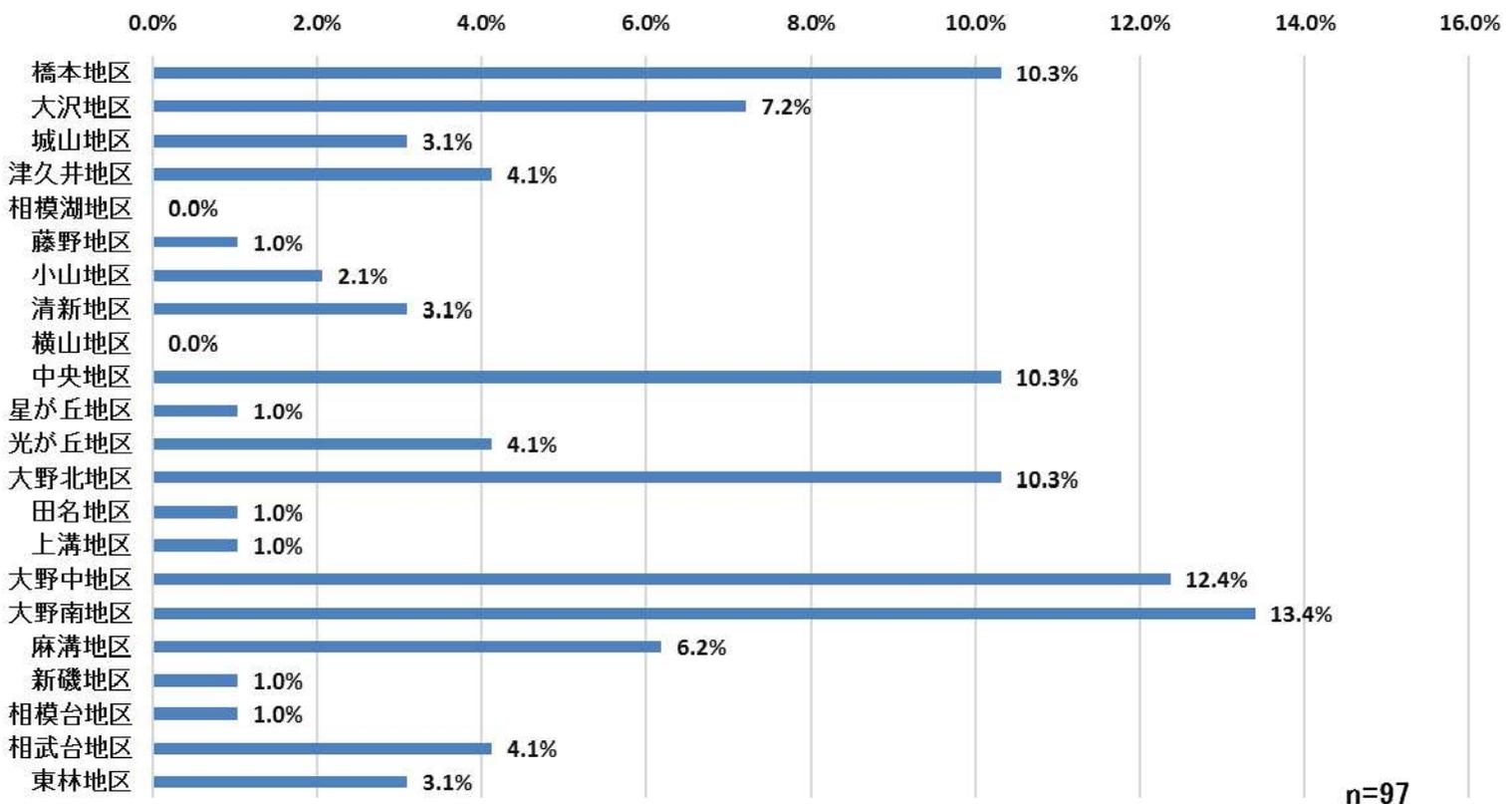


回答された方の年齢層は以上のとおりです。

【問3】 あなたのお住まいの地区をお伺いします。（回答は1つ）

緑区	中央区	南区
1 橋本地区	7 小山地区	16 大野中地区
2 大沢地区	8 清新地区	17 大野南地区
3 城山地区	9 横山地区	18 麻溝地区
4 津久井地区	10 中央地区	19 新磯地区
5 相模湖地区	11 星が丘地区	20 相模台地区
6 藤野地区	12 光が丘地区	21 相武台地区
	13 大野北地区	22 東林地区
	14 田名地区	
	15 上溝地区	

選択肢	回答数	回答分布
橋本地区	10	10.3%
大沢地区	7	7.2%
城山地区	3	3.1%
津久井地区	4	4.1%
相模湖地区	0	0.0%
藤野地区	1	1.0%
小山地区	2	2.1%
清新地区	3	3.1%
横山地区	0	0.0%
中央地区	10	10.3%
星が丘地区	1	1.0%
光が丘地区	4	4.1%
大野北地区	10	10.3%
田名地区	1	1.0%
上溝地区	1	1.0%
大野中地区	12	12.4%
大野南地区	13	13.4%
麻溝地区	6	6.2%
新磯地区	1	1.0%
相模台地区	1	1.0%
相武台地区	4	4.1%
東林地区	3	3.1%
計	97	100%

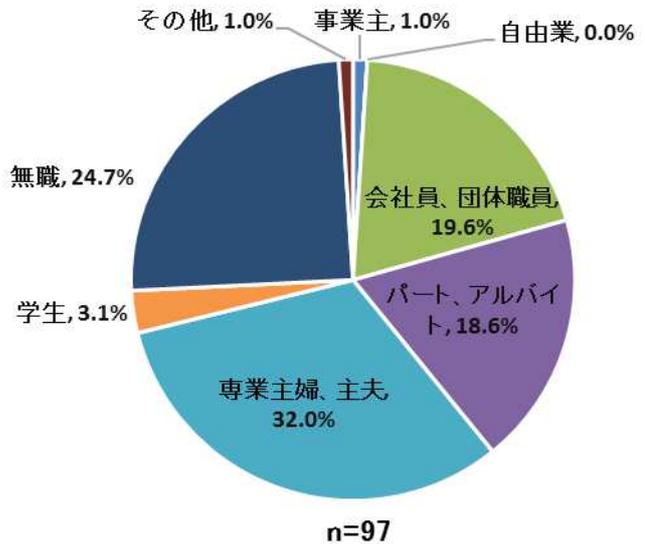


回答された方のお住まいの地区は以上のとおりです。

【問4】 あなたの職業をお伺いします。(回答は1つ)

1 事業主	5 専業主婦、主夫
2 自由業	6 学生
3 会社員、団体職員	7 無職
4 パート、アルバイト	8 その他

選択肢	回答数	回答分布
事業主	1	1.0%
自由業	0	0.0%
会社員、団体職員	19	19.6%
パート、アルバイト	18	18.6%
専業主婦、主夫	31	32.0%
学生	3	3.1%
無職	24	24.7%
その他	1	1.0%
計	97	100%

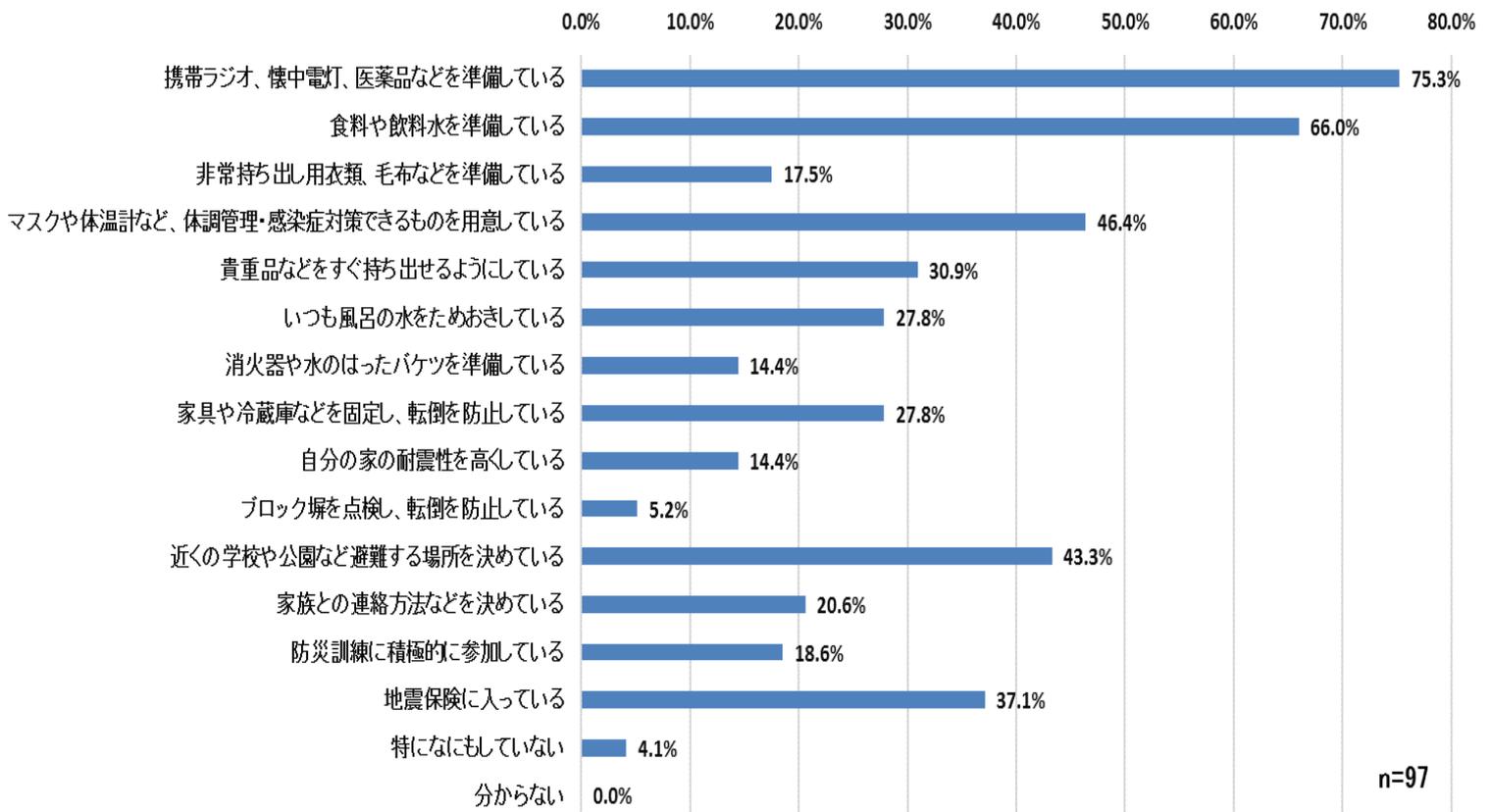


回答された方の職業は以上のとおりです。

【問5】 あなたの家では、地震等の災害に備えてどのような対策を行っていますか。(回答はいくつでも)

1 携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している
2 食料や飲料水を準備している
3 非常持ち出し用衣類、毛布などを準備している
4 マスクや体温計など、体調管理・感染症対策できるものを用意している
5 貴重品などをすぐ持ち出せるようにしている
6 いつも風呂の水をためおきしている
7 消火器や水のはったバケツを準備している
8 家具や冷蔵庫などを固定し、転倒を防止している
9 自分の家の耐震性を高くしている
10 ブロック塀を点検し、転倒を防止している
11 近くの学校や公園など避難する場所を決めている
12 家族との連絡方法などを決めている
13 防災訓練に積極的に参加している
14 地震保険に入っている
15 特になにもしていない
16 分からない

選択肢	回答数	回答分布
携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している	73	75.3%
食料や飲料水を準備している	64	66.0%
非常持ち出し用衣類、毛布などを準備している	17	17.5%
マスクや体温計など、体調管理・感染症対策できるものを用意している	45	46.4%
貴重品などをすぐ持ち出せるようにしている	30	30.9%
いつも風呂の水をためおきしている	27	27.8%
消火器や水のはったバケツを準備している	14	14.4%
家具や冷蔵庫などを固定し、転倒を防止している	27	27.8%
自分の家の耐震性を高くしている	14	14.4%
ブロック塀を点検し、転倒を防止している	5	5.2%
近くの学校や公園など避難する場所を決めている	42	43.3%
家族との連絡方法などを決めている	20	20.6%
防災訓練に積極的に参加している	18	18.6%
地震保険に入っている	36	37.1%
特になにもしていない	4	4.1%
分からない	0	0.0%

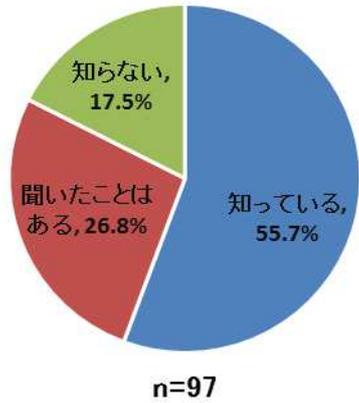


「携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している」が最も多く75.3%、次いで「食料や飲料水を準備している」が66.0%、「マスクや体温計など、体調管理・感染症対策できるものを用意している」が46.4%という結果となりました。

【問6 - 1】 あなたは、平成28年3月に全世帯に配布された防災ガイドブックを知っていますか。
 (回答は1つ)

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

選択肢	回答数	回答分布
知っている	54	55.7%
聞いたことはある	26	26.8%
知らない	17	17.5%
計	97	100%



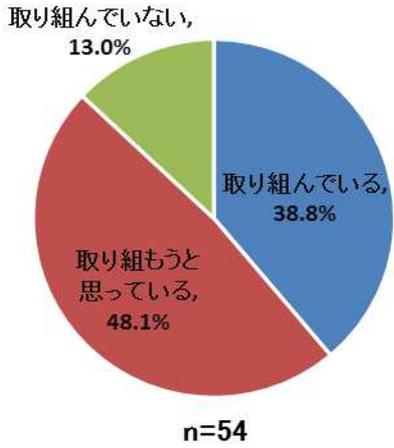
「知っている」が55.7%という結果となりました。

《【問6 - 1】で、「1 知っている」とお答えの方へ》

【問6 - 2】 あなたは、平成28年3月に全世帯に配布された防災ガイドブックを読んで何か取り組んでいますか。(回答は1つ)

- 1 取り組んでいる
- 2 取り組もうと思っている
- 3 取り組んでいない

選択肢	回答数	回答分布
取り組んでいる	21	38.8%
取り組もうと思っている	26	48.1%
取り組んでいない	7	13.0%
計	54	100%



「取り組んでいる」が、38.8%という結果となりました。

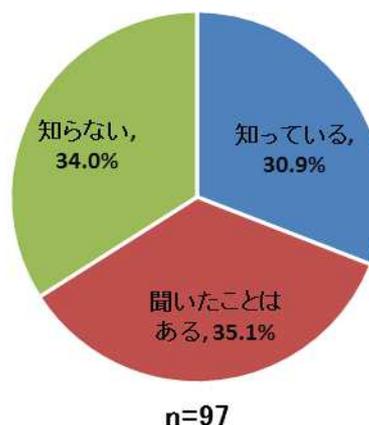
【避難情報の認知度について】

【問7】 あなたは、「避難準備・高齢者等避難開始¹」を知っていますか。（回答は1つ）

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

1 避難に時間を要する高齢者等の災害時要援護者やその支援者が避難行動を開始し、その他の方は避難の準備や自発的に避難をする段階として市が発令する情報

選択肢	回答数	回答分布
知っている	30	30.9%
聞いたことはある	34	35.1%
知らない	33	34.0%
計	97	100%



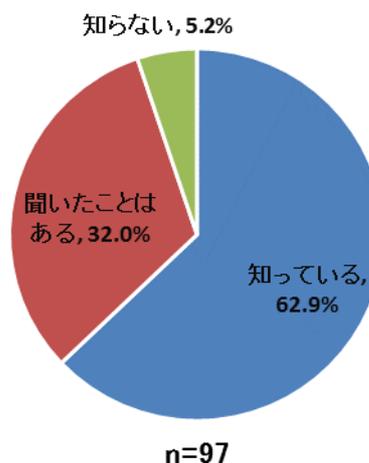
「知っている」が、30.9%という結果となりました。

【問8】 あなたは「避難勧告²」を知っていますか。（回答は1つ）

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

2 災害が発生する可能性が高まり、災害のおそれがある場所にいる方が速やかに避難行動をとる段階として市が発令する情報

選択肢	回答数	回答分布
知っている	61	62.9%
聞いたことはある	31	32.0%
知らない	5	5.2%
計	97	100%



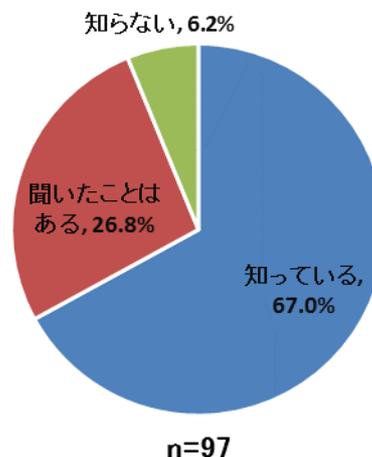
「知っている」が、62.9%という結果となりました。

【問9】 あなたは、「避難指示（緊急）³」を知っていますか。（回答は1つ）

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

3 人的被害の発生する危険性が極めて高い状況であり、緊急に避難行動をとる段階として市が発令する情報

選択肢	回答数	回答分布
知っている	65	67.0%
聞いたことはある	26	26.8%
知らない	6	6.2%
計	97	100%



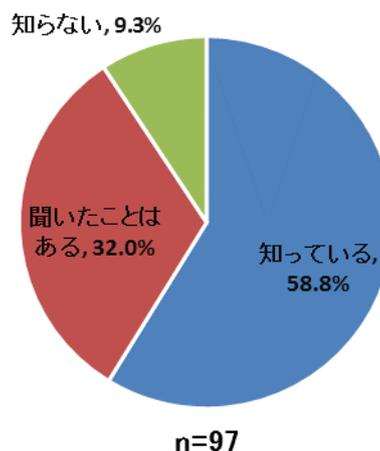
「知っている」が、67.0%という結果となりました。

【問10】 あなたは、「警戒レベル⁴」を知っていますか。

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

4 災害発生のおそれの高まりに応じて、居住者等がとるべき行動と行動を居住者等に促す情報を関連付けるもの（5段階で提供）

選択肢	回答数	回答分布
知っている	57	58.8%
聞いたことはある	31	32.0%
知らない	9	9.3%
計	97	100%



「知っている」が、58.8%という結果となりました。

【緊急避難場所、避難所の認知度について】

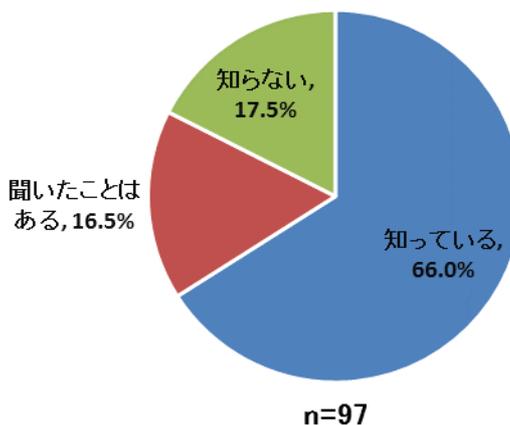
【問 1 1】 あなたは、地域の自治会が選定している「一時避難場所⁵」を知っていますか。

(回答は1つ)

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

5 地震により火災や建物の倒壊等が発生した場合、一時的に様子を見るための場所として、地域の自治会が選定している場所

選択肢	回答数	回答分布
知っている	64	66.0%
聞いたことはある	16	16.5%
知らない	17	17.5%
計	97	100%



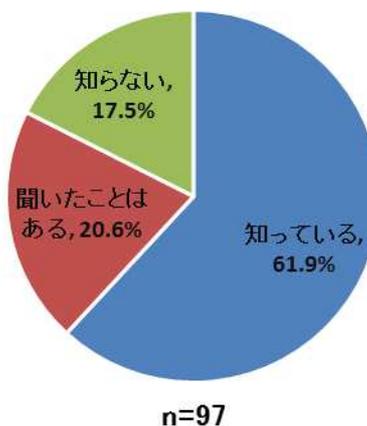
「知っている」が、66.0%という結果となりました。

【問 1 2】 あなたは、市が指定している「広域避難場所⁶」を知っていますか。(回答は1つ)

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

6 地震により同時に多くの火災が発生し燃え広がった場合、火煙やふく射熱から身を守る場所として、市が指定している場所

選択肢	回答数	回答分布
知っている	60	61.9%
聞いたことはある	20	20.6%
知らない	17	17.5%
計	97	100%

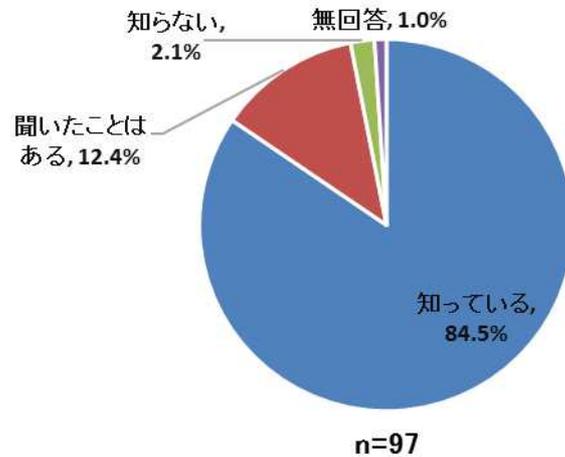


「知っている」が、61.9%という結果となりました。

【問13】 あなたは、災害発生時、被災した人を受け入れるために小・中学校などが避難所となっていることを知っていますか。(回答は1つ)

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

選択肢	回答数	回答分布
知っている	82	84.5%
聞いたことはある	12	12.4%
知らない	2	2.1%
無回答	1	1.0%
計	97	100%



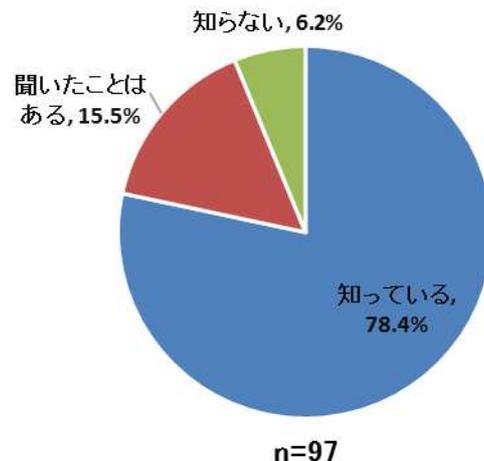
「知っている」が、84.5%という結果となりました。

【問14】 あなたは、洪水や土砂災害の時の緊急避難場所として小・中学校などが風水害時避難場所となっていることを知っていますか。(回答は1つ)

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

7 河川の氾濫や土砂災害が発生するおそれがある場合に、緊急に避難する場所として、市が指定している場所

選択肢	回答数	回答分布
知っている	76	78.4%
聞いたことはある	15	15.5%
知らない	6	6.2%
計	97	100%



「知っている」が、78.4%という結果となりました。

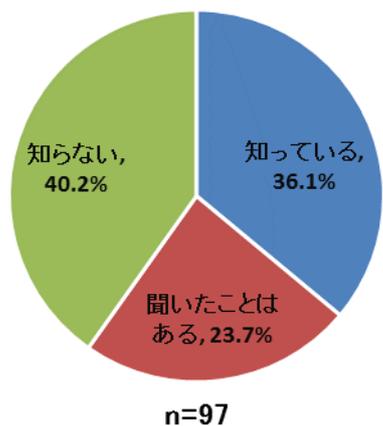
【家庭での備えなどについて】

【問15】 あなたは、「ローリングストック⁸」を知っていますか。（回答は1つ）

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

8 日常生活で使用する水や食料を多めに備蓄しておき、消費したら補充するという備蓄方法

選択肢	回答数	回答分布
知っている	35	36.1%
聞いたことはある	23	23.7%
知らない	39	40.2%
計	97	100%

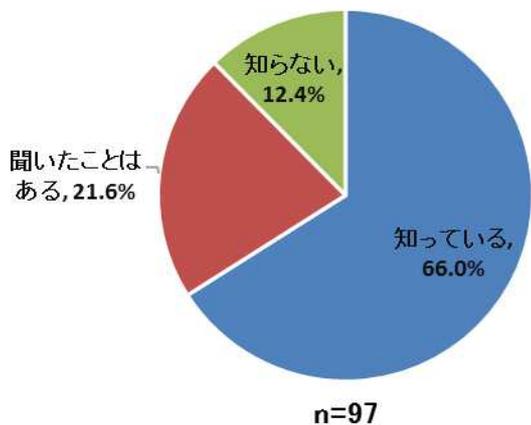


「知っている」が、36.1%という結果となりました。

【問16】 あなたは、災害時に停電が発生し、停電が復旧した時に発生する火災「通電火災」を知っていますか。（回答は1つ）

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

選択肢	回答数	回答分布
知っている	64	66.0%
聞いたことはある	21	21.6%
知らない	12	12.4%
計	97	100%



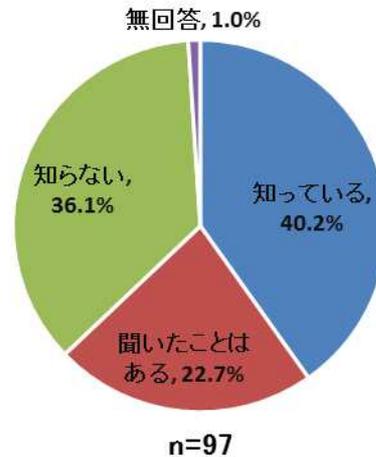
「知っている」が、66.0%という結果となりました。

【問17-1】 あなたは、「感震ブレーカー⁹」を知っていますか。(回答は1つ)

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

9 地震の強い揺れにより自動的に電気の供給を遮断し、通電時の出火を防止することができるもの

選択肢	回答数	回答分布
知っている	39	40.2%
聞いたことはある	22	22.7%
知らない	35	36.1%
無回答	1	1.0%
計	97	100%



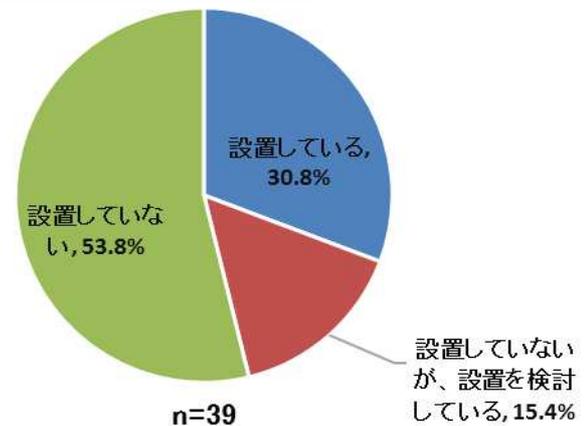
「知っている」が、40.2%という結果となりました。

《【問17-1】で、「1 知っている」とお答えの方へ》

【問17-2】 あなたは「感震ブレーカー」を設置していますか。(回答は1つ)

- 1 設置している
- 2 設置していないが、設置を検討している
- 3 設置していない

選択肢	回答数	回答分布
設置している	12	30.8%
設置していないが、設置を検討している	6	15.4%
設置していない	21	53.8%
計	39	100%



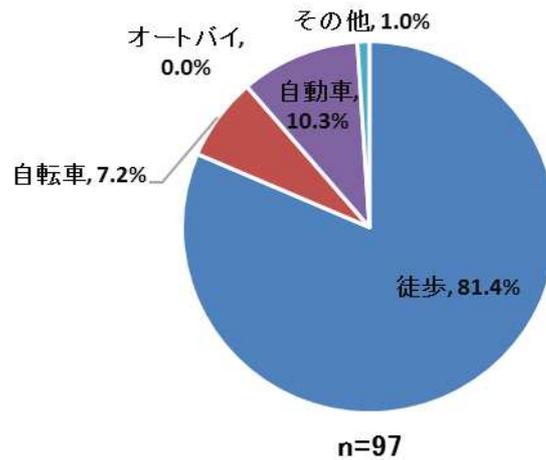
「設置している」が、30.8%という結果となりました。

【その他】

【問18】 あなたは、災害時に、どのような手段で避難しますか。(回答は1つ)

- 1 徒歩
- 2 自転車
- 3 オートバイ
- 4 自動車
- 5 その他

選択肢	回答数	回答分布
徒歩	79	81.4%
自転車	7	7.2%
オートバイ	0	0.0%
自動車	10	10.3%
その他	1	1.0%
計	97	100%

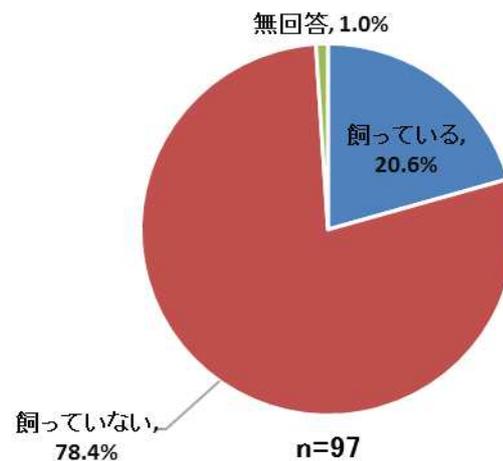


「徒歩」が、81.4%という結果となりました。

【問19-1】 あなたは、ペットを飼っていますか。(回答は1つ)

- 1 飼っている
- 2 飼っていない

選択肢	回答数	回答分布
飼っている	20	20.6%
飼っていない	76	78.4%
無回答	1	1.0%
計	97	100%



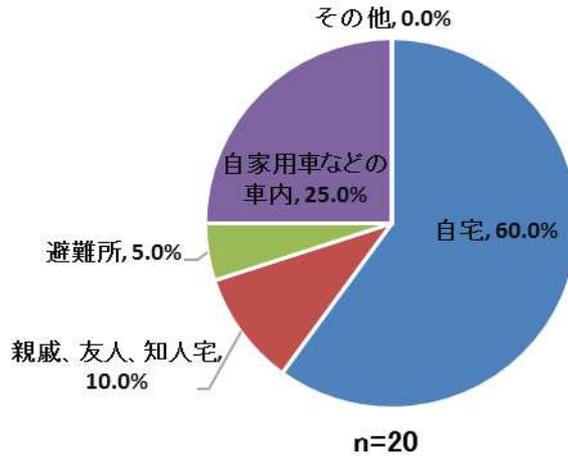
「飼っている」が、20.6%という結果となりました。

《【問19-1】で、「1 飼っている」とお答えの方へ》

【問19-2】 あなたは、災害時の避難生活で、ペットをどこで生活させる予定ですか。
(回答は1つ)

- 1 自宅
- 2 親戚、友人、知人宅
- 3 避難所
- 4 自家用車などの車内
- 5 その他

選択肢	回答数	回答分布
自宅	12	60.0%
親戚、友人、知人宅	2	10.0%
避難所	1	5.0%
自家用車などの車内	5	25.0%
その他	0	0.0%
計	20	100%

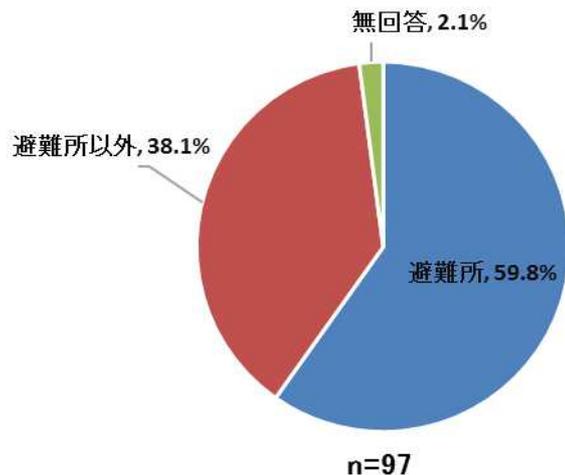


「自宅」が、60.0%という結果となりました。

【問20-1】 自宅が被災し、自宅に住むことができなくなった場合、どこに避難したいですか。
(回答は1つ)

- 1 避難所
- 2 避難所以外

選択肢	回答数	回答分布
避難所	58	59.8%
避難所以外	37	38.1%
無回答	2	2.1%
計	97	100%



「避難所」が、59.8%という結果になりました。

《【問20-1】で、「2 避難所以外」とお答えの方へ》

【問20-2】 なぜ避難所を選ばないのか理由をお聞かせください。

自由記述（主な意見）

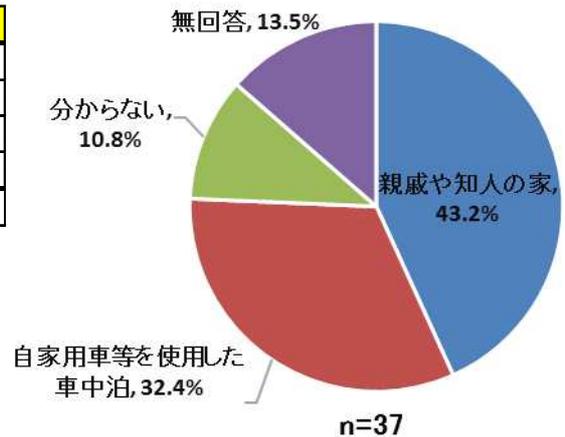
感染症がこわいため。
他県にある親族宅や所有している家等に行くため。
自宅が丈夫な建物であり、避難所へ行く方がリスクが高いため。
ペットや、高齢な家族がいるため。
障害がある家族がいるため、他人の目や本人の情緒が心配なため。
密になる。プライバシーがないため。

《【問20-1】で、「2 避難所以外」とお答えの方へ》

【問20-3】 避難所以外とはどのような場所を想定していますか。（回答は1つ）

- | |
|-----------------|
| 1 親戚や知人の家 |
| 2 自家用車等を使用した車中泊 |
| 3 分からない |

選択肢	回答数	回答分布
親戚や知人の家	16	43.2%
自家用車等を使用した車中泊	12	32.4%
分からない	4	10.8%
無回答	5	13.5%
計	37	100%



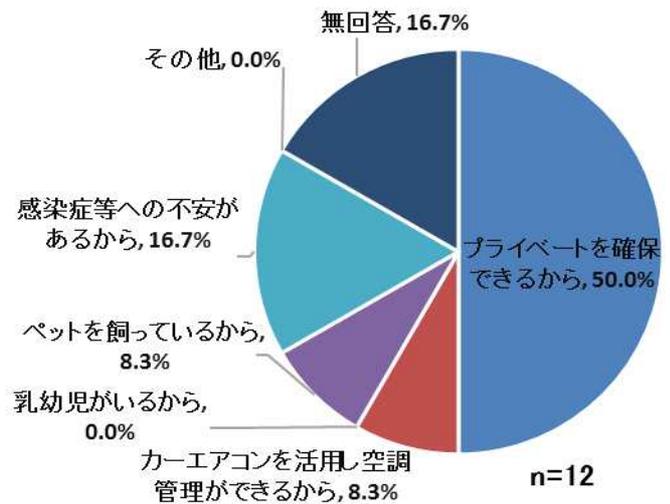
「親戚や知人の家」が、43.2%という結果になりました。

《【問20-3】で、「2 自家用車等を使用した車中泊」とお答えの方へ》

【問20-4】 なぜ車中泊を選びましたか。(回答は1つ)

- 1 プライベートを確保できるから
- 2 カーエアコンを活用し空調管理ができるから
- 3 乳幼児がいるから
- 4 ペットを飼っているから
- 5 感染症等への不安があるから
- 6 その他

選択肢	回答数	回答分布
プライベートを確保できるから	6	50.0%
カーエアコンを活用し空調管理ができるから	1	8.3%
乳幼児がいるから	0	0.0%
ペットを飼っているから	1	8.3%
感染症等への不安があるから	2	16.7%
その他	0	0.0%
無回答	2	16.7%
計	12	100%



「プライベートを確保できるから」が、50.0%という結果になりました。

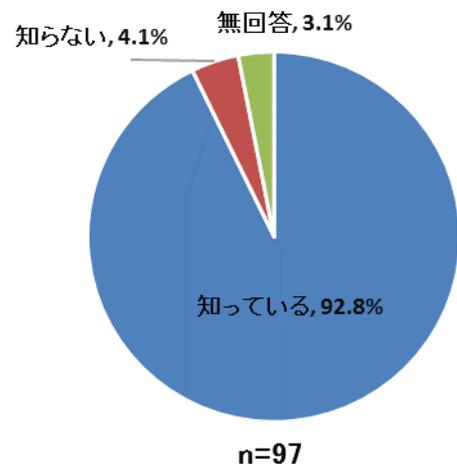
【問21】 車中泊など狭いスペースで生活を行うことでリスクが高まると言われている

「エコノミークラス症候群¹⁰」を知っていますか。(回答は1つ)

- 1 知っている
- 2 知らない

10 食事や水分を十分に取らない状態で、車などの狭い座席に長時間座っていて足を動かさないと、血行不良が起こり、血液が固まりやすくなり、血の固まり（血栓）が血管の中を流れ、肺に詰まって肺塞栓などを誘発する恐れのある病気。

選択肢	回答数	回答分布
知っている	90	92.8%
知らない	4	4.1%
無回答	3	3.1%
計	97	100%

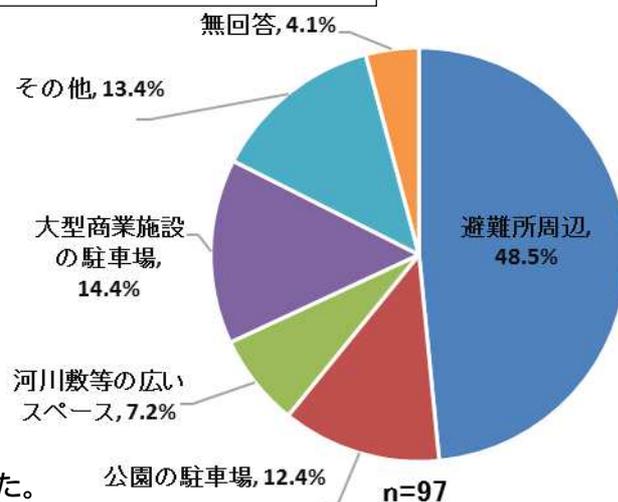


「知っている」が、92.8%という結果になりました。

【問 2 2】 あなたが車中泊を選択した場合にどこに避難しますか。（回答は1つ）

- 1 避難所周辺
- 2 公園の駐車場
- 3 河川敷等の広いスペース
- 4 大型商業施設の駐車場
- 5 その他

選択肢	回答数	回答分布
避難所周辺	47	48.5%
公園の駐車場	12	12.4%
河川敷等の広いスペース	7	7.2%
大型商業施設の駐車場	14	14.4%
その他	13	13.4%
無回答	4	4.1%
計	97	100%



「避難所周辺」が、48.5%という結果になりました。公園の駐車場、12.4%
 「その他」では、「自宅駐車場」や「選択自体しない」という意見が複数あげられました。

【問 2 3】 最後に防災に関してのご意見などございましたらご自由にご記入ください。

自由記述（主な意見）

情報収集や訓練等災害への備えについて

<p>昨年の台風で、水や、手軽に食べられる食品が手に入りにくくなった経験から、常にある程度買い置きをするという形をとっている。</p>
<p>災害が起きた時の災害レベルや避難場所など知らない人や、一度は聞いたことがあっても時間が経つうちに忘れてしまう人も多いのではないかと。地域防災無線なども活用して定期的に情報発信していくことは有効かと思う。</p>
<p>以前は防災というと地震に備えるという意識でいたが、最近は地震だけではなく台風や大雨などの自然災害も多発するようになり、防災をますます意識するようになった。相模原市が発信している情報をしっかりキャッチして、いざという時に適切な行動がとれるように備えておきたい。</p>
<p>日ごろ、どこが危険箇所なのか、常に認識している必要がある。ハザードマップを使い、学校での危険意識の教育や足腰が不自由な高齢者を周辺の方でどのように避難させるか、自治会活動を通して訓練が必要である。</p>
<p>ケガや持病の方の医療、ペットの避難、緊急食糧やトイレの問題等、最低限の生活を支えてゆけるよう官民あげて取り組んでゆく必要がある。</p>
<p>災害が起こったとき、消防をはじめ救助機関だけでは限界があるため、そばにいる人や地域の共助が大切だと思う。近隣に住んでいる人とのコミュニケーションがほとんどないことが不安である。</p>
<p>会社で、パートやアルバイトの人でも防災訓練に参加させてほしい。</p>

防災に関して準備をしておきたいと思いつつも緊急性を感じず、いまだにしっかりとできていないのが現状である。身近な施設で防災訓練や防災イベントがあると防災への関心が高まるので、そのような機会を増やして欲しい。

避難の手段や避難所等について

コロナ禍の現状、避難所の利用できる人数はこれまでより少なくなると思うので、新たに避難所の設定をしてほしい。新たな避難所の設定をしたら、その情報は速やかに市民に周知してほしい。

防災は市内一括ではなく、各々の住環境に応じた対応をすべきである。市としてもその辺りを考えた上で防災対応に臨んで欲しい。

高齢者や障害者など、歩いて避難所に退避出来ない歩行困難者などの救済について制度として確立し、住民に周知してほしい。

赤ちゃん連れだと授乳や泣き声に遠慮して避難所を使うのをためらってしまうため、子育て世帯も安心して避難できる場所があることを周知してほしい。

体育館に避難するとき男女を別にするなど配慮してほしい。

その他

災害に強い街づくりをお願いします。

今回のアンケートで、知らなかったことや、しておかなければならないことを知ることができた。防災について家族で今一度考えて取り組んでいきたい。

30年以内に起こる可能性が高いといわれている大地震が起きた場合、旧来からの防災対策で大丈夫なのか不安になる。何かもっと安心できるような新しい強力な防災対策はないものか。

最近災害が多いので、市としても防災活動を強化してほしい。

川の氾濫は被害が甚大なので、ダムの緊急放流は日が落ちる前にするなど、放流時期の見直しなどを行ってほしい。